

# 浜松地区中学生サッカー選手権大会 要綱

## (第32回読売カップ争奪戦)

- 1 主旨
  - ・サッカーを通じて、親睦をはかるとともに、サッカー競技の普及と向上をねらい、あわせてたくましい少年の育成を目的とする。
  - ・指導者の研修の場とする。
- 2 主催 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部
- 3 共催 読売新聞社浜松支局
- 4 主管 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部第3種
- 5 後援 浜松市教育委員会、浜松市体育協会、報知新聞社、静岡第一テレビ
- 6 期日 平成29年2月19日(日) 亀崎多目的、遠州灘海浜公園(たこ場)  
2月25日(土) 平口人工芝、遠州灘海浜公園(たこ場)  
3月4日(土) 遠州灘海浜公園、エコパ人工芝  
3月5日(日) 平口人工芝、エコパ人工芝  
3月11日(土) 平口人工芝  
3月12日(日) 平口人工芝、半田山(平口多目)
- 7 参加資格 平成28年度日本サッカー協会へ登録してあるものとする。
- 8 大会規定
  - (1) 競技時間
    - ① 50分(25分-5分-25分)ゲーム。
    - ② 1日目(1回戦、2回戦)は延長なし、PK戦。それ以降の本戦は、50分で決しない場合は10分間(5分-5分)の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK戦とする。順位決定戦は延長なし、PK戦とする。
  - (2) 登録メンバーは30名とする。リエントリー制を採用し、交代は9名とする。(プログラムからの当日変更を認める)また、ベンチ入りのスタッフはメンバー表に記載された5名までとする。
  - (3) 当日、メンバー表に先発メンバーを記入し、本部に1部提出する。背番号が変わっている場合は、それも記入しておく。
  - (4) 大会を通じて警告を通算2回うけた者は次の試合に出場できない。退場者(次の試合は出場できない)の以後の試合の出場については規律委員会で検討する。
  - (5) 競技は本年度日本サッカー協会競技規定(2016/2017 競技規則)による。
  - (6) 使用球は公認5号球とし、持ち寄りとする。
  - (7) ユニホームは2色用意する。GKが怪我等で交代しなければいけない場合、フィールドプレイヤーがGKをする際、交代するGKのユニフォームまたはサブキーパーのユニフォームを着用して出場してもよい。
  - (8) 試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水等の警報が発令された場合、グラウンド状況などが不良の場合は延期を検討する。延期の場合の組み合わせ等については、実行委員会で決定する。試合中、同様の警報が発令され試合続行が困難な場合は、残り試合を後日実施する。また、試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。なお、試合続行が困難な場合は残り試合時間分を後日実施する。
- 9 その他
  - (1) 表彰は1位から8位までとする。(4~8位は賞状のみ)
  - (2) 大会中における事故については応急処置を行うが、その後は自チームの責任とする。
  - (3) 開会式は、2月19日(日) 亀崎多目的グラウンドにて8:30より行う。参加者は亀崎多目的の1、2試合目の出場チームが参加する。閉会式3月12日(日) 平口サッカー場にて決勝終了後上位4チームが参加する。
  - (4) 上位2チームが夏休みに行われる浜名湖カップに出場する。(予定)
  - (5) 西部大会の予選を兼ねず、結果によって春の西部大会のシードとはならない。
  - (6) シードについては、新人戦、ホンダカップのポイントを合計し、16チームとする。同じポイントについてはホンダカップを優先する。16シードが複数チーム出てしまう場合は抽選し、16チームとする。
  - (7) 最終結果を、中体連夏季大会のシードポイントに反映する。
    - ・1位:7ポイント → 4位:4ポイント
    - ・5位から8位:2ポイント、ベスト16進出:1ポイント
  - (8) インフルエンザなどにより大会参加不可能な場合は、棄権とする。